

稲作情報

(今年度の作柄について)

令和4年度第7号

令和5年1月16日発行

福島県喜多方農業普及所、JA会津よつば、
喜多方市、北塩原村、西会津町

作柄概況

1 育苗期

- ・播種作業は、平年並に行われました(表1)。
- ・一部で過湿・酸欠等による出芽不良が発生しました。

2 田植期

- ・田植作業は、平年並に行われました(表2)。
- ・田植後の活着は良好でした。

3 分けつ期

- ・6月上旬の低温により、分けつは平年より少なくなりました。
- ・葉色は淡く経過しました。

4 幼穂形成期～出穂期

- ・幼穂形成期は、主稈出葉から推測して平年より1～2日程度早まりました。
- ・出穂期は、平年より1～2日程度遅れました(表3)。

5 登熟期・刈取期

- ・9月が高温多照で経過したため、登熟は概ね良好でした。
- ・9月18～19日の台風14号による影響及び20日、22日、24日降雨により、倒伏面積が拡大しました(図1)。
- ・収穫作業は、概ね平年並みに進みました(表4)。

表1 播種作業

	始期(5%)	盛期(50%)	終期(95%)
本年	4/13	4/19	4/26
平年	4/13	4/20	4/26

表2 田植作業

	始期(5%)	盛期(50%)	終期(95%)
本年	5/12	5/17	5/26
平年	5/12	5/18	5/26

表3 出穂状況

	始期(5%)	盛期(50%)	終期(95%)
本年	7/31	8/10	8/14
平年	7/30	8/8	8/13

表4 刈取作業

	始期(5%)	盛期(50%)	終期(95%)
本年	9/25	10/5	10/17
平年	9/23	10/5	10/17

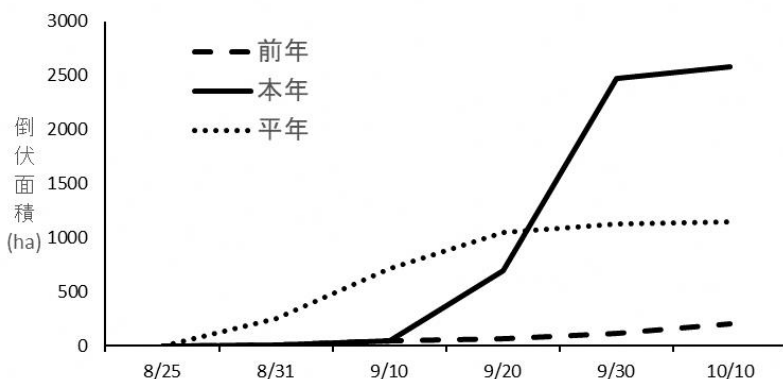


図1 倒伏面積 (倒伏程度3～4) の推移

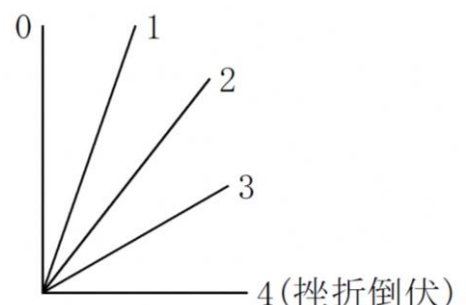


図2 倒伏程度のイメージ

6 収量・品質

- ・12月9日に東北農政局が公表した令和4年産米の作柄は、会津で作況指数「99」の「平年並み」でした（県全体では作況指数「100」の「平年並み」）。
- ・1等米比率は、96.3%（11/16時点、JA調べ）でした。主な落等要因は、未熟粒や斑点米カメムシによる着色粒でした。

7 病虫害等発生状況

<病害>

・育苗期病害

育苗期の低温により、一部ではムレ苗が見られました。育苗期間の急激な温度変化や、加湿過乾燥に注意しましょう。

・いもち病

葉いもち、穂いもちともに大きな問題となる発生は見られませんでした。常発地では、平年並みに発生が見られました。

・ばか苗病

近年、至る所で散見されています。感染が疑われる種子を利用する場合は、生物農薬や温湯による消毒ではなく、化学農薬により消毒しましょう。ただし、一部の農薬に耐性を持ったばか苗病菌が発生していますので、剤の選択に注意してください。

<害虫>

・イネドロオイムシ

概ね平年並みの発生で大きな問題にはなっていませんが、他の地域では一部の殺虫剤に対する感受性の低下が見られていますので、農薬はローテーションして使用しましょう。

・斑点米カメムシ類

近年発生量が多く、農産物検査における2等以下への主な格付け理由になっています。周囲の生産者との畦畔の一斉草刈りや一斉薬剤散布が効果的です。

<雑草>

・雑草イネ

発生地域の拡大が見られています。玄米に混入すると農産物検査で2等以下へ格付けされる可能性があるため、発生量が少ない内に抜き取りましょう。

・クサネム

雑草イネと同様に、玄米に混入すると2等以下へ格付けされる可能性があるため、収穫前に抜き取りましょう。なお、早い段階で抜き取ると、水田に種子がこぼれることを防げます。

◎お知らせ

- ・令和5年産米も需要の低迷が見込まれています。経営の安定化を図るため、飼料用米や高収益作物等への作付転換を検討しましょう。

★本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせ、相談はこちらへどうぞ。

会津農林事務所喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5744

J A会津よつば 喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801